社会福祉法人　みぎわ会

平成29年度　事業計画書

「やさしい笑顔と　手の温もり
心やすらぐ　いこいのみぎわ」

法人本部
特別養護老人ホーム　みぎわ園
軽費老人ホーム　いずみ寮
ケアハウス　ハンナ館
デイサービスセンター　ナオミ館
みぎわ園居宅介護支援事業所
みぎわ園在宅介護支援センター
みぎわ園ヘルパーステーション
託児所まりあ保育園

目　　次

社会福祉法人　みぎわ会

1. 平成29年度事業計画　1

・事業計画　1

・主な行事担当　2

・年間予定表　3

・組織図　4

・委員会等の構成メンバー　5

・会議、委員会の日程　6

2. 研修計画　7

○今年度の方針　7

○法人内研修　7

○法人外研修　8

○個別研修計画　9

3. 防災、安全衛生　10

・防災訓練等年間予定　10

・安全衛生管理計画　11

4. 委員会の目標　12

5.各事業所、部署の目標　14

1．

平成２９年度　社会福祉法人みぎわ会

●

基本方針

社会福祉事業が多様化する中でキリス
行い、利用者及び家族に信頼と安心を提
る

●

計画骨子

社会福祉法人のガバナンスの強化、透
公益的活動が求められる社会福祉法の改
また、西脇市の介護予防・日常生活支
度には各市町で第７期介護保険計画がス
控えている

そのような時代の変化の中でも、みぎ
ばならない　基本理念である「奉仕と隣
に作り、地域に安心を提供できる社会福
そのためにみぎわ会役職員がひとつと

●

(重要課題

①利用者サービスの視点

・みぎわ園喫茶ルームの再開（月1回）
・より充実した口腔ケアの定着
・いずみ寮利用者の生活支援
・総合事業（通所、訪問）への適正な
②人材育成の視点

・人材確保のための新たな取り組み
・施設外研修を現場に生かす仕組みの
・介護職員の階級別による研修実施
・いずみ寮職員と関係部署との円滑化
③財務、設備の視点

・みぎわ園ナースコールの取り換え及
・ハード見直しの下での記録のあり方
・みぎわ園個室化工事への取り組み②
・いずみ寮利用者トイレの改修
・ナオミ館浴室及びトイレの改修
④地域貢献の視点

・地域公益活動の具体化
・新地区民生委員との交流の構築（芳
⑤その他

・２年後のみぎわ園50周年に向けての
・ペーパーレス化への取り組み（電子

●

職員合言葉　「気持ちの良いあいさつ」

●

職員全体目標　「職員憲章を全て暗唱す

平成２９年度　主な行事と担当

月	日	曜	行事	責任部署	担当管理部
5	16	火	新任職員歓迎会	実行委員会	総括
7	7	金	七夕	みぎわ相談部	
7	17	月	子ども参観日	実行委員会	寮長
8	6	日	夏祭り	実行委員会	所長
9	18	月	敬老祝会	みぎわ相談部	園長
10	2	月	運動会	各施設相談部	
11	1	～	文化祭	実行委員会	寮長
11	5	日	家族会	みぎわ相談部	事務長
12	9	土	職員忘年会	実行委員会	館長
12	23	土	燭火礼拝	みぎわ相談部	
12			クリスマス	各施設、各フロア主任	
12	28	水	もちつき会	実行委員会	
2	3	土	節分祭	みぎわ相談部	
3			ひなまつり	各施設相談部	
9.10.11月			職員旅行（日帰り）	実行委員会	総括

※各行事は出来るだけ余裕をもって企画、計画し準備をすること

※各行事の計画書（提案書）、報告書、ミーティング記録を提出すること

※管理部担当のある行事には管理部が責任者となる

平成

19年度　みぎ

年間予定表

月	曜日	行事
4		花見（各
5	月	いずみ寮
	月	みぎわ園
	水	みぎわ園
	金	みぎわ園
		野外食
6	木	ハンナ館
	金	まりあ保
7	金	七夕会
	月	みぎわ園
8	土	民生委員
	日	夏まつり
9	金	食事訓練
	木	ハンナ館
	金	まりあ保
10	月	敬老長寿
	月	運動会
	金	いずみ寮
11		介護技術
	7	文化祭
	日	家族会
12	月	みぎわ園
		みぎわ園
	金	まりあ保
	土	燭火礼拝
		クリスマ
	日	クリスマス
1	木	もちつき
	日	新年礼拝
	月	とんど
	水	ナオミ館
2	水	食事訓練
	土	節分祭
	木	ハンナ館
3	金	まりあ保
		ひなまつ
通年		誕生会・

月	行事
4	者関係
	設）
5	災訓練
	者レントゲン
	用者採血
	園日（48年）
	施設）
6	災訓練
	園防災訓練
7	災訓練
8	流会
9	災訓練
	防災訓練（DVD）
	会
10	施設）
	災訓練
	習会
11	災訓練
	用者レントゲン
	園自主点検
12	（各施設）
	礼拝
1	ずみ寮）
	災訓練
2	災訓練（DVD）
	園防犯訓練
3	（各施設）
通年	祝会・記念会

月	日	曜日	行事
4	1	土	職員関係
	7	金	辞令交付式
5	5	火	議、互助会
	2	金	ミナー
	6	火	議
	5	木	員歓迎会
			ミナー
6	9	金	
	2. 13.		議
	6	月	健康診断
	6	月	ミナー
	27	火	員研修（看
7			員研修（介
	6	木	員腰痛検査
	7	月	議
8	25	火	参観日
	10	木	ミナー
	25	金	議
9			ミナー
	8	金	
	25	月	議
	26	火	ミナー
10	29	金	行（1班）
	13	金	員研修
	23	月	議
11	25	木	行（2班）
	10	金	ミナー
	14	火	議
	27	月	行（3班）
			ミナー
12	8	金	
	11. 1		議
	9		員健康診断
	20	木	忘年会
			ミナー
1	12	金	
	25	木	議
			ミナー
			員腰痛検査
2	9	金	
	18		議
	26	月	研修
			ミナー
3	9	金	
	26	月	議
			ミナー
通年			

平成29年度　社会福祉法人　みぎわ会　組織図

法人本部	理事長	藤井良己	副理事長	南久雄			管理医師	河原淳	柳井映二	上田正生	和田良勝	協力歯科医師	蓮池一晃
	理事	來住壽一	丸山智枝子	芹生哲也	臼井好和	足立勝三	産業医	河原淳	衛生管理者	足立勝三	鷹尾哲男	安全衛生推進者	大野幸代
	評議員	矢持美智子	志賀周郎	河原淳	高瀬和子	小林孝昭	看護責任者	宮﨑妙子	服薬管理者	宮﨑妙子	谷川由紀子		
		丸山隆義	津瀬美智子				統括会計者	芹生哲也	会計責任者	臼井好和			
	評議員選任解任委員	藤井義輝	村上幸雄	武部規子			安全運転管理者	鷹尾哲男	車両管理責任者	大野幸代	整備管理責任者	柳井映二	竹内義雅

平成29年度 みぎわ会 会議・委員会 構成メンバー

2017/4/1

会議・委員会名	人数	委員長	副委員長	委員										
経営会議	7	芹生哲也	横山猛	藤井良己	臼井好和	武部規子	足立勝三	藤井ゆう子						
三役会議	6	芹生哲也	横山猛	臼井好和	武部規子	足立勝三	藤井ゆう子							
運営会議	19	芹生哲也	臼井好和	藤井良己 大野幸代	武部規子 吉原容子	横山猛 鷹尾哲男	足立勝三 河合真弓	藤井ゆう子 村上則男	直江英樹 岸本京子	柴田幹大	時政佳世	藤原世子	宮﨑妙子	藤原昌史
危機管理委員会	7	臼井好和	足立勝三	藤井良己	芹生哲也	武部規子	横山猛	藤井ゆう子						
防火対策委員会	18	足立勝三	吉原容子	芹生哲也 大野幸代	臼井好和 鷹尾哲男	武部規子 河合真弓	横山猛 村上則男	藤井ゆう子 岸本京子	直江英樹	柴田幹大	時政佳世	藤原世子	宮﨑妙子	藤原昌史
入所計画委員会	16	平井進一	芹生哲也	臼井好和 藤原昌史	武部規子 村上則男	横山猛 河原淳	足立勝三	藤井ゆう子	直江英樹	柴田幹大	時政佳世	藤原世子	宮﨑妙子	大野幸代
安全衛生委員会	20	鷹尾哲男	大野幸代	芹生哲也 藤原昌史	臼井好和 吉原容子	武部規子 河合真弓	横山猛 村上則男	足立勝三 岸本京子	藤井ゆう子 浦井桂子	直江英樹 河原淳	柴田幹大	時政佳世	藤原世子	宮﨑妙子
給食委員会	21	藤原昌史	瀬戸山幸代子	芹生哲也 大野幸代	臼井好和 吉原容子	武部規子 鷹尾哲男	横山猛 河合真弓	足立勝三 村上則男	藤井ゆう子 岸本京子	直江英樹 浦井桂子	柴田幹大 小林由香	時政佳世	藤原世子	宮﨑妙子
感染症対策委員会	19	宮﨑妙子	藤井ゆう子	芹生哲也 吉原容子	臼井好和 鷹尾哲男	武部規子 河合真弓	横山猛 村上則男	足立勝三 岸本京子	直江英樹 浦井桂子	柴田幹大	時政佳世	藤原世子	藤原昌史	大野幸代
医療的ケア委員会	19	宮﨑妙子	藤井ゆう子	芹生哲也 吉原容子	臼井好和 鷹尾哲男	武部規子 河合真弓	横山猛 村上則男	足立勝三 岸本京子	藤井ゆう子 浦井桂子	直江英樹	時政佳世	藤原世子	藤原昌史	大野幸代
事故防止委員会	12	藤原世子	藤井ゆう子	小林素子	柴田幹大	池田美雪	内橋美紀	坂本真理	瀬戸山幸代子	遠藤優子	川上能広	鎌田裕美	岸本京子	
身体拘束廃止委員会	8	柴田幹大	藤井ゆう子	小林素子	藤原世子	池田美雪	内橋美紀	坂本真理	瀬戸山幸代子					
苦情解決委員会	12	大野幸代	岸本京子	岸本匡史	内原幸	高瀬瑠衣子	友藤里香	在田実孝	村上広美	谷川由紀子	井上美喜	鎌田裕美	横山美由紀	
サービス向上委員会	12	岸本京子	大野幸代	岸本匡史	内原幸	高瀬瑠衣子	友藤里香	在田実孝	村上広美	谷川由紀子	井上美喜	鎌田裕美	横山美由紀	
第三者委員会	10	武部規子	芹生哲也	内原幸	高瀬瑠衣子	藤井良己	臼井好和	横山猛	足立勝三	藤井ゆう子	吉原容子	河合真弓	鷹尾哲男	村上則男
				直江英樹	岸本京子	大野幸代								
褥瘡予防委員会	—	休止中	休止中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広報誌編集委員会	4	横山猛	川﨑智子	内橋美紀	町口綾									
研修委員会	6	直江英樹	横山猛	柴田幹大	鎌谷昇	井上美喜	臼井弥生	近藤美和	衣笠克洋	（岩本久美子）				
看取り介護委員会	10	藤井ゆう子	時政佳世	平田五月	藤本美智子	河上弥生	林有紀	藤尾美佑	（河原淳）	（神原かよ子）	（岩本久美子）			
夏まつり実行委員	15	足立勝三	武部規子	直江英樹 松本美佳	廣田珠巳 谷口友佳子	片岡一美	鎌谷昇	村上悦子	友藤里香	足立英一	衣笠克洋	藤原まさ子	小林由香	坂本美和
文化祭実行委員	15	武部規子	足立勝三	直江英樹 岸本京子	梶原一郎 澤田光子	嶋本由美	柴田いづみ	村上則子	高瀬葉子	古川梨歩	衣笠克洋	雀部則子	宇仁菅圭子	吉原容子
みぎわ園運動会実行委員会	8	直江英樹	—	平田五月	中北有希子	岸本奈千	河野由希	角田武史	藤原菜穂	神戸ひとみ				
みぎわ園もちつき会実行委員会	4	直江英樹	—	小谷恭子	柳田員史	石橋由美								
子ども参観日実行委員会	6	武部規子	—	瀬戸山幸代子	藤本享子	河合真弓	井上美喜	谷口友佳子						
新任職員歓迎会	8	直江英樹	藤井ゆう子	中北有希子	岸本奈千	藤原菜穂	鎌田裕美	衣笠克洋	加藤幸代					
職員旅行委員	10	藤井ゆう子	芹生哲也	平井進一	中村誠	吉川千恵	藤本美智子	大垣ゆみ	高橋妙子	臼井弥生	藤原千奈津			
職員忘年会委員	10	横山猛	臼井好和	林有紀	神吉直子	藤本くるみ	石橋由美	藤本好美	岡本久乃	遠藤優子	松本瑛莉			

社会福祉法人みぎわ会　　会議・委員会一覧　　注）変則の日程は赤で記入

会議・委員会名	開催日	開催時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営会議	第3金曜	14:00	4/21	5/26	—	7/21	8/24	9/22	—	11/24	12/22	1/26	—	3/23
三役会議	第1、3火曜	10:00	4/4.18	5/9.23	6/6.20	7/4.18	8/8.22	9/5.19	10/10.24	11/7.21	12/5.19	1/9.23	2/6.20	3/6.20
運営会議	第1金曜	14:00	4/7	5/12	6/9	7/6	8/10	9/8	10/13	11/10	12/8	1/12	2/9	3/9
危機管理委員会	第1、3火曜	三役会議後	4/4.18	5/9.23	6/6.20	7/4.18	8/8.22	9/5.19	10/10.24	11/7.21	12/5.19	1/9.23	2/6.20	3/6.20
防火対策委員会	第1金曜	運営会議後	4/7	5/12	6/9	7/6	8/10	9/8	10/13	11/10	12/8	1/12	2/9	3/9
安全衛生委員会	運営会議後の金曜	14:00	4/14	5/19	6/16	7/14	8/18	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16
給食委員会	運営会議後の金曜	安全衛生委員会後	4/14	5/19	6/16	7/14	8/18	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16
感染症対策委員会	運営会議後の金曜	給食委員会後	4/14	5/19	6/16	7/14	8/18	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16
医療的ケア委員会	運営会議後の金曜	感染症対策委員会後	4/14	5/19	6/16	7/14	8/18	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16
事故防止委員会	第3水曜	14:00	4/19	5/24	6/21	7/19	8/16	9/20	10/11	11/22	12/13	1/10	2/21	3/14
身体拘束廃止委員会	第3水曜	事故防止委員会後	4/19	5/24	6/21	7/19	8/16	9/20	10/11	11/22	12/13	1/10	2/21	3/14
苦情解決委員会	職員セミナーの日	職員セミナー後	4/25	5/25	6/26	7/25	8/25	9/25	10/25	11/27	12/20	1/25	2/26	3/26
サービス向上委員会	職員セミナーの日	苦情解決委員会後	4/25	5/25	6/26	7/25	8/25	9/25	10/25	11/27	12/20	1/25	2/26	3/26
第三者委員会	6、10、2月の第3金曜	14:00	—	—	6/23	—	—	—	10/27	—	—	—	2/23	—
褥瘡予防委員会	休止中	休止中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広報誌編集委員会	第2木曜	10:00	4/6	5/11	6/8	7/13	8/10	9/14	10/12	11/9	12/14	1/11	2/8	3/8
研修委員会	第2月曜	14:00	4/10	5/8	6/12	7/3	8/7	9/11	10/16	11/6	12/4	1/22	2/5	3/5
看取り介護委員会	第4月曜	14:00	4/24	5/22	6/28	7/24	8/28	9/27	10/30	11/29	12/25	1/29	2/28	3/28
夏まつり実行委員会		15:30	—	5/23	6/6.20	7/4.18	8/8	—	—	—	—	—	—	—
文化祭実行委員会		15:00	—	—	—	—	8/22	9/5.19	10/10.24	11/21	—	—	—	—
みぎわ園運動会実行委員会							8/21	9/11. 22						
みぎわ園もちつき会実行委員会										11/6	12/4. 18			
子ども参観日実行委員会		15:00	—	5/10	6/7	7/5.19	—	—	—	—	—	—	—	—
新任職員歓迎会実行委員会			4/3. 17	5/8										
職員旅行実行委員会			4/12											

2.研修計画

○今年度の方針

年間テーマ　「あらためて“あいさつそして接　　スキルアップ」

・諸場面での挨拶の確認や見直し

・重要な課題の全体研修の定例化②

・施設外研修を現場に生かす仕組みの実施

・介護職員研修の充実

・「心肺蘇生法」の取得

○法人内研修

(A)職員セミナー

実　　施：月1回(12回)13:30～15:00

対　　象：法人全職員

回	研修日	内　　容	発表者(講師等)
390	29.4.25	○「前年度の評価と新年度の　　各委員会	・主任、委員長
391	5.25	○「自主学習会よりの報告」	・各学習会
392	6.29	○講義「あいさつ、そして接遇	・外部講師
393	7.25	○「　　身体拘束　　員会より	・委員会メンバー
394	8.25	★	・
395	9.25	○「　　事故防止　　より	・委員会メンバー
396	10.25	○「　　感染症対　　会より	・委員会メンバー
397	11.27	★	・
398	12.20	○認知症学習会	
399	29.1.25	○「　　看取り介護　　会より	・委員会メンバー
400	2.26	◎400回記念セミナー	
401	3.26	○「新年度の方針、課題」	・管理部

★その他　・年間テーマに沿った学習　・任意の学習グループよりの研究発表

・視察や研修報告　・講や視察を実践に生かした報告

(B)セミナー以外の研修

★新任職員研修

内　　容：法人新任職員研修要綱に沿った講義・　　習他

講　　師：園長他管理部、各部主任、副主任等責

対　　象：平成29年度新規採用者及び平成28年　　途採用者

期　　間：講義、座学は入職直後にパソコンで視　　実技演習　6月26、27日

★給食職
期
対
目
員研修
間:平成
★介護職
象:管理
期
的:衛生
対
員研修
目
間:不定
★主任研
象:みぎ
期
的:個々の
対
修
目
間:30年
★「心肺蘇
象:主任、
期
的:法人の
対
生法」演
目
間:平成2
★各事業
象:全職
的:基本的
○資格取得そ
所、部署、
・介護支
・介護支
の他法
・主任介
援専門員
・防火管
援専門員
・危険物
護支援専
・衛生管
理者講習
・介護実
扱者資
・喀痰吸
理者資格
・認知症
務者研修
・社会福
関係
・会計関
護実践
・社会福
主事資
・キャリ
講座
士実習
アップ
・職場の
・市や地
・兵庫県
全衛生、
・兵庫県、
の地域
・その他
び近畿
県社協、
★受講申
間主催
による

○個別研修計画

・居宅介護支援事業所

	研修課題
A	業務を確実に行う モニタリング。
B	ルーティンワーク 化。質問を意識し スメント力の向上
C	認定ケアマネジャ に向けアセスメン アップに努める。
D	「私が目指すケア ジャー像とは」を して再学習する。
E	基本に戻り正確な 遂行する。

・ヘルパーステーション

	研修課題
A	老計第10号を学ぶ
B	サービス提供責任 て知識を深める
C	心理学について学
D	入浴介助の方法を
E	利用者の心理的、 的な変化に気づい 努力する
F	認知症について学

3.防災、安全衛生

①年間防災訓練

5月		計画	
5月 8日			
6月 8日			
6月 9日	月	夜間	
7月10日	木	いす	
9月 7日	金	ハン	
9月 8日	月	まり	
10月13日	木	みき	
11月13日	金	ハン	
12月 8日	金	まり	
1月17日	月	いす	
2月 8日	金	みき	
2月 9日	水	まり	
	木	ナ	
	金	ハン	
		まり	

② H29年度

5月　夜間

7月　防火

9月　自衛

11月　芳

その他の

急通報）予定

理者講訓練

方大会 習　2

地区合同 消火

司防災

日中、想定

夜間、想定

夜間、想定

夜間、想定

夜間、想定

避難器具

検

防犯訓練

副主任　（7／

副主任　（9月

副主任　（11月

安全衛生管理計画書

（平成29年度）

労働保険番号	28-1-08-005977000		
事業の名称	社会福祉法人　みぎわ会		
同所在地	兵庫県西脇市八坂町213-1（TEL 0795-22-1358）		
事業者職氏名	理事長　藤　井　良　己		
業種	老人介護・福祉	労働者数	150　人
産　業　医	河　原　　淳	衛生管理者	足立　勝三
総括安全衛生管理者		衛生管理者	鷹尾　哲男

災害発生状況			H29年度目標
区分	平成27年度	平成28年度	
死亡	0	0	0
休業4日以上	0	0	0
休業1～3日	0	0	0
計	0	0	0
安全衛生推進者	大野　幸代		

重点目標

1. 安全衛生管理計画書の実行による労働災害「0」
2. 安全で安心できる職場環境作りを行う

	主要項目	改善対象	改善内容	改善の時期	担当者	実施上の留意点
1	安全衛生委員会の活性化	安全衛生委員会	安全衛生委員会への提起等による活性化	年間	足立　勝三 鷹尾　哲男	
2	4SとKY活動の実行	法人内全部署	法人内全部署よりの提起による検討改善	年間	鷹尾　哲男 大野　幸代	
3	メンタルヘルス	法人内全部署	メンタルヘルスケアの推進	年間	藤井ゆう子 大野　幸代	
4	衛生管理者資格取得計画	管理職員 指導職員　等	衛生管理者資格の取得	8月 3月	芹生　哲也	
5	マネジメントと点検の実施	法人内全部署	法人内全部署提起の調整とマネジメント	年間	臼井　好和	
6	健康診断等	法人内全職員	①保健指導の実施 ②健康診断の実施	6月・7月 12月・1	河原　淳 藤井ゆう子	医師の意見聴取と就業

年間安全衛生活動計画

事項＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点目標	活動計画検討	活動計画作成	健康づくり腰痛予防推進月	全国安全週間	4S活動	委員会上半期　評価
安全衛生委員会の活性化	委員会目標の明確化	委員会開催	委員会開催 4月-6月　評価	委員会開催	委員会開催	委員会開催 7月-9月　評価
4SとKY活動の実行	活動方法の検討	総務部 相談部 より提起・検討	介護部3F より提起・検討	介護部2F 看護部 より提起・検討	介護部1F 給食部 より提起・検討	上半期 振返り・まとめ
メンタルヘルスケアの推進	推進方法の検討	総務部・相談部 より提起・審議	介護部3F より提起・審議	介護部2F 看護部 より提起・審議	介護部1F 給食部 より提起・審議	上半期 振返り・まとめ
衛生管理者資格取得計画	受験者の選定			受験者の確認・申込み	衛生管理者資格の受験	
マネジメントと点検の実施	マネジメントと点検の検討		消防設備点検	電気設備点検	廊下ワックス清掃	給食部厨房大掃除
健康診断等法定事項	健康診断実施の調整		職員健康診断 腰痛検査	医師の意見聴取と就業区分の判定	有所見者の保健指導	
その他	ヨガ教室	ヨガ教室	ヨガ教室	ヨガ教室	ヨガ教室	ヨガ教室

事項＼月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点目標	労働衛生週間	感染予防	健康づくり	4S活動	委員会下半期　評価	H29年度総評
安全衛生委員会の活性化	委員会開催	委員会開催	委員会開催 10月-12月 評価	委員会開催	委員会開催 H30年度　目標	委員会開催 H29年度　評価
4SとKY活動の実行	ナオミ館 居宅支援 より提起・検討	ヘルパー ハンナ館 より提起・審議	いずみ寮 より提起・検討	まりあ保育園 より提起・審議	下半期 振返り・まとめ	1年間 振返り・まとめ
メンタルヘルスケアの推進	ナオミ館 居宅支援 より提起・審議	ヘルパー ハンナ館 より提起・審議	いずみ寮 より提起・審議	まりあ保育園 より提起・審議	下半期 振返り・まとめ	1年間 振返り・まとめ
衛生管理者資格取得計画				受験者の確認・申込み	衛生管理者資格の受験	
マネジメントと点検の実施	ボイラー点検		消防設備点検	業者による清掃		
健康診断等	生活習慣病			医師の意見聴取		次年度

4.平成29年度　委員会別目

委員会名：	危機管理委
○目標に	いての実行計画
目標 ①	情報管理規程
実行計画）	情報管理規程
数値目標）	12月をめやす
責任者）	臼井　好和
委員会名：	入所計画委員
○目標につ	いての実行計画
目標 ①	申込者の適切
実行計画）	適時に申込者
数値目標）	ベッド利用率を
責任者）	平井　進一
委員会名：	防火対策委員
○目標につ	いての実行計画
目　標 ①	職員の防火・
実行計画）	訓練前後の協
数値目標）	年間計画による
責　任　者）	足立　勝三
委員会名：	給食委員会
○目標につ	いての実行計画
目標 ①	個々の体調に
実行計画）	各部署、各施
数値目標）	毎月実施
責任者）	藤原　昌史
委員会名：	感染対策委
○目標につ	いての実行計画
目標 ①	感染症に対す
実行計画）	①手指衛生・
	②感染症発生
	③感染対策に
数値目標）	①4期に分けて
	③年1回以上
責任者）	宮﨑　妙子
委員会名：	事故防止委員
○目標につ	いての実行計画
目標 ①	事故に対する
実行計画）	ヒヤリレポートの
数値目標）	毎月委員会で
責任者）	藤原　世子
委員会名：	苦情解決委員会
○目標につ	いての実行計画
目標 ①	気づきから苦
実行計画）	報告書から要
数値目標）	月に1回は報告
責任者）	大野　幸代

好朝

に關する危險性について

立　勝三

井　進一

短縮し可能な入所を

用、短期利用の調整を

る

重　哲也

立　勝三

確保

る

江　義樹

原　昌史

に關する

林　由香

崎　妙子

守することで感染防止に

る問題提起と改善に努

画の委員会で報告、

する

年ゆう子

世子

した報告書の提出を目

井ゆう子

野　幸代

委
○目
(目
(実
(数
(責

5.平成29年度

施設部署：

○目標について

（目標①）

（実行計画）

（数値目標）

（責任者）

施設部署：

○目標について

（目標①）

（実行計画）

（数値目標）

（責任者）

施設部署：

○目標について

（目標①）

（実行計画）

（数値目標）

（責任者）

施設部署：

○目標について

（目標①）

（実行計画）

（数値目標）

（責任者）

施設部署：

○目標について

（目標①）

（実行計画）

（数値目標）

（責任者）

施設部署：

○目標について

（目標①）

（実行計画）

（数値目標）

（責任者）

施設部署：	給食部
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	利用者の方が毎日の楽しみの
（実行計画）	適温適時を心がけ行事食、お
（数値目標）	月1回の手作りお菓子、お楽し
（責任者）	藤原　昌史

施設部署：	いずみ寮
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	現在のADLを維持し、集団生活
（実行計画）	利用者への対応が多様化して
（数値目標）	個別ケアとして、一人一人に達
（責任者）	吉原　容子

施設部署：	ナオミ館
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	確実な記録を行い、利用者へ
（実行計画）	職員全員が全ての記録を意識
（数値目標）	各報告書の確実な記録・提出
（責任者）	鷹尾　哲男

施設部署：	ハンナ館
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	健康意識を高め、介護予防
（実行計画）	食事や運動等、健康に関心
（数値目標）	栄養指導や健康講話を実施
（責任者）	河合　真弓

施設部署：	居宅介護支援事業所・在宅介
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	利用者を通して地域ニーズを自立支援や在宅生活の維持
（実行計画）	支援センター実態把握、居宅地域ニーズを把握して何がで
（数値目標）	研修会等に参加して、ケアマ芳田ふれあいまつり等の参加
（責任者）	村上　則男

施設部署：	ヘルパーステーション
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	利用者個々のニーズに応える
（実行計画）	ミーティングで更新時期に合わ
（数値目標）	年12回
（責任者）	岸本　京子

施設部署：	まりあ保育園
○目標についての実行計画	
（目標　①　）	安心した環境の中で見守られ
（実行計画）	年齢にあった課題を見つけ情子を見てもらう
（数値目標）	毎日の登降園時の情報の交
（責任者）	谷口友佳子

社会福祉法人

倫理

に

社会福祉法人みぎわ会は、社会福祉事業法に

設立された。創立者のキリスト信仰に根ざし

の

みぎわ会の法人役員及び職員は、法人の公共

会

持つ「先駆性、柔軟性」を尊重し、事業を通

1. の福祉推進に役立つことを希い、ここに倫理

施設の使命

施設を利用する人たちが、その長寿を喜

寿を全うされることを目標とし、その達成

2. つ良質なサービスの提供に励むことを使命

施設経営と運営の公正遵守

施設は社会資源として公的援助に守られ、

3. く認識し、公正、清明且つ健全な経営と、

職員の資質向上

豊かな、良質なサービスは、職員のすぐ

ぬものである。施設職員はこのことを強く

4. 向上に努力すると共に、各職部間のよきチー

地域活動の展開と推進

社会福祉施設は地域社会の福祉推進の拠点

なニーズに、いつでも具体的、専門的に対応

5. たしてゆきたい。

安全確保の責任と準備

施設は利用者の生命の安全を守る責任があ

急連絡体制、生活物資の確保、避難順路（方

職員憲章（

『自分にしてもらいたいと望むとお

一、 私たちは、「奉仕と隣人愛」を基本

一、私たちは、ご利用者の人権を尊重し

一、私たちは、自己の専門的能力と品性